

令和6年度

事業計画書

公益財団法人山梨県健康管理事業団

令和6年度事業計画

山梨県健康管理事業団は、昭和58年4月に県、市町村、医師会の3者により設立され、健康増進法等関係法令に基づく健診・検査事業、公衆衛生に関する知識の普及・啓発事業を実施し、その実施にあたっては、市町村等の顧客ニーズに応え、より効果的な運営に努めた事業展開を図っている。事業団は、公益財団法人として当初の設立目的と存在意義を踏まえ、県民からより一層信頼される機関として、精度の高い健診・検査事業を実施するとともに、県の「健やか山梨21」計画と連携した生活習慣病やがんの予防、生活習慣の改善による健康づくりを推進し、県民の心とからだの健康保持及び健康な生活の実現に努めていく。

また、安定した経営基盤の確立を目指し、令和2年度に策定した「第4期経営計画」に沿った事業展開を引き続き推進していく。

昨年、新型コロナウイルス感染症対策上の分類が5類に移行して、上部団体の健診時における感染対策が改訂されたが、引き続き必要に応じた感染対策を遵守しながら、感染の影響により低下した健診の受診率向上のため、各自治体と連携を図り回復に取り組んでいく。

なお、この4月から一般財団法人甲南健康福祉協会を吸収合併し、全ての健診事業について事業承継することで、更なる相互の協力体制を強化し、健診事業拡大に努める。

さらに、急激に進む人口減少や個別健診受診の需要の増加、DX化などの社会経済状況の変化に対応し、将来にわたって人間ドックや個別健診、職域健診の充実と多様化するニーズに対応するため、胃内視鏡検査等を行うことができる施設の整備に向けて、積極的に検討を行っていく。

I 健康診査・各種がん検診等

昨年、国において、「第4期がん対策推進基本計画」が策定され、本県においてもこの3月中に「誰一人取り残さないがん対策を推進し、全ての県民とがんの克服を目指す」を全体目標に掲げ令和6年度から6年計画として準備を進めている。

事業団では、この6年度から第4期となる特定健診・特定保健指導の見直しへの対応として質問項目の変更、随時中性脂肪項目の追加、保健指導はより成果に着目した評価に対応するため健診システムや帳票類の修正を行った。

また、健診後の結果判定において、これまで3段階としていた区分を人間ドック学会・協会けんぽ等の判定基準に準じた7段階の判定区分に変更を行い、血液検査等もこの区分に沿った基準値に変更して6年度から運用していく。

さらに、住民・職域健診の会場で行っている資格確認においてマイナンバーカードによる保険証の資格確認がオンラインで対応出来るよう運用に向け準備を進めている。

これらの改正等に伴う準備をすすめるとともに重要施策に貢献するため、関係法令等に基づく健康診査・各種がん検診等を実施、推進していく。

1 特定健康診査・特定保健指導等

(1) 特定健康診査

高齢者医療確保法に基づく特定健診を市町村、全国健康保険協会、健康保険組合等、医療保険者から委託を受けて実施する。

また、対象とならない39歳以下、75歳以上の住民健康診査等についても市町村から委託を受けて実施する。

① 集団健診

各市町村の受診率向上の取り組みに呼応し健診日数や土日休日健診の調整、各がん検診の同時実施等「受診しやすい環境作り」に努め、受診人数の増加を図っていく。

② 個別健診

事業団施設を利用した甲府市民40歳以上を対象とした個別健診については、ハガキ、チラシ等によりリピーター等対象者への受診勧奨を行うとともに、事業団職員の知人紹介等により新規受診者数の増加を図る。

(2) 特定保健指導

第4期の改正を踏まえ特定健診を実施する市町村から委託を受け、メタボ予備群及び該当者の抽出と情報提供を行うとともに、階層化による動機付け支援と積極的支援該当者に保健指導を行う。

2 各種がん検診等

健康増進法に基づく各種がん検診については、胃がん検診、肺がん検診、大腸がん検診、乳がん検診等について、特定健診等とがん検診等を同時実施する総合健診方式により、市町村・事業所等から委託を受けて実施する。厚労省や県から各自治体に対し、有効性に基づいた検診の実施を推奨していることもあり、受診者の増加に向けては厳しい状況が予想される。

(1) 胃がん検診

バリウムによる胃部X線検査については、近年、受診者の高齢化や内視鏡検査への実施要望等により受診者は減少傾向にある中、指針改正の影響に伴い今後もさらに、X線検査の減少が予測される。

血液によるペプシノゲン検査、ピロリ菌検査の実施や両検査を組み合わせた胃がんABC検診（リスク検診）については、X線検査減少の対策として、市町村等実施主体に推奨していく。

(2) 肺がん検診

胸部X線検査と喫煙者等ハイリスクを対象とした喀痰細胞診については、総合健診で実施するとともに、地域を検診車で巡回し、高齢者等の受診の利便性を図る中で、受診率向上に努める。

また、胸部X線デジタル検診車を活用し、結核検診（胸部X線検査）も含め、より精度の高い検診を提供する。

(3) 大腸がん検診

便潜血反応検査による大腸がん検診については、単独検診の実施等、引き続き受診者の利便性に配慮した実施方法等について検討を行い受診率向上に積極的に取り組んで行く。

また、大腸がん検診は、精検受診率が他のがん検診に比べ低く、その向上のため市町村等実施主体と連携する中で、「要精検者」について必ず精密検査を受診するよう周知を徹底し精検受診率向上に努める。

(4) 乳がん検診

マンモグラフィ検査及び乳腺超音波検査を、市町村、事業所等から委託を受け実施する。

また、「乳房を意識する生活習慣（ブレストアウェアネス）について」も引き続き受診者等に周知していく。

(5) その他のがん検診等

① 子宮がん検診

子宮がん検診については、子宮頸部細胞診検査を事業所の希望者を対象に実施する。

② 前立腺がん検診

前立腺がん検診（血液P S A検査）については、特定健診を受託している市町村を中心に実施する。

(6) 骨粗鬆症検診

骨粗鬆症は、骨折等の基礎疾患となり、高齢社会の進展によりその増加が予想されることから、早期に骨量減少者を発見し、予防するための骨粗鬆症検診を市町村等の要望に応じ実施する。また、D X A法においては新しい検診車に更新を行い、5月からの健診稼働に向け準備を進めている。

(7) 超音波検診

超音波検診は、肝臓を中心にした胆嚢、腎臓、膵臓等进行检查し所見を早期に見つけ出すことを目的とし、市町村及び事業所等からの委託を受けて実施する。

3 各種の検診検査事業

(1) 事業所等の職域健診

全国健康保険協会（協会けんぽ）が実施する生活習慣病予防健診及び労働安全衛生法に基づく健康診断を事業所従事者、県職員、教職員等を対象に実施する。また、任意の各種がん検診等についても推奨していく。さらに中小企業等に対しては健診後の結果に応じて保健指導や医療機関の受診に繋がるよう周知等を行っていく。

① ストレスチェック

労働安全衛生法に基づくストレスチェックについては、健診を受託している事業所等を中心に、制度説明書、実施内容・方法、結果報告書例等により案内を行う中で、要望に対応していく。

② 小規模事業所の集約出張健診

小規模事業所の受診機会を確保するため、各地域の公共施設等を利用した検診車等による出張健診については、積極的な営業活動を行うとともに、対象事業所を絞り込んだ訪問やダイレクトメール等の案内を送付して、受診勧奨に取り組み受託事業所の増加を図っていく。

③ 職域健診受託拡大

甲南健康福祉協会との合併により実施体制が増えるので、積極的に職域健診の拡大、新規顧客獲得に向け営業強化に取り組んでいく。特に協会けんぽ加入の定期健康診断未実施事業所等に対し受診勧奨を積極的に行っていく。

(2) 学校保健関係の検診検査事業

学校保健関係の検診検査事業についても、少子化の影響による減少傾向が続いている。

本年度も、学校保健安全法による児童、生徒等の検診検査を県、市町村教育委員会等の委託を受けて実施する。

学校健診においても、甲南健康福祉協会との合併により受診人数は増加する予定であるが、双方協力体制を図りながら次年度に向けては、運用面と効率面の見直しを含め検討を行っていく。

① 心臓検診

心臓検診は心疾患の早期発見のため、心臓検診調査票・心電図検査を小・中学校、高等学校等の児童、生徒を対象に実施する。

② 尿検査、蟯虫卵検査

尿検査は幼児、児童、生徒等を対象として腎疾患と若年性糖尿病の早期発見を目途に実施し、蟯虫卵検査については、保育所・幼稚園の幼児等を対象に実施する。

(3) 結核検診

感染症法による結核検診(胸部X線検査)を高校生、大学生、一般住民(65歳以上)、民間企業従事者及び県職員、教職員等を対象として実施する。

特養等福祉関係施設、特別支援学校等の車椅子、寝たきり者等の結核検診については、ポータブル型撮影装置を活用し実施する。

(4) 風しんの追加的対策(風しん抗体検査)

平成31年2月1日に施行された国の「風しんの追加的対策」については、令和7年3月までの延長にともない、引き続き実施主体である市町村や関係機関等と連携を図り、住民健診、事業所健診等を受診する対象者に風しん抗体検査を実施する。

II 諸会議の開催

1 理事会・評議員会

理事会・評議員会は、事業計画、予算、決算等寄付行為に定める事項を審議し、議決、又は承認する。

2 経営評価委員会

今後の経営状況や経営強化の実施状況について適切な評価を受け、外部の経営専門家として公認会計士、開業医等をメンバーとする経営評価委員会を開催する。

3 実施主体担当者連絡会議

実施主体の要望、意見等の現場の声を事業運営に反映させるため、実施主体担当者連絡会議を開催し、事前のアンケート調査等を取り入れながら実施していく。

4 経営管理会議等

各種事業の進捗状況及び経営状態の現状を把握精査し、新規事業の導入や効率的な事業推進方策を検討し安定した運営に資するため、事業団の課長補佐以上の職員で構成する経営管理会議等を開催する。

Ⅲ 普及啓発事業

1 ホームページの活用

ホームページを活用し、組織、経営理念、事業案内による検診事業全般の内容紹介など広く県民に情報発信し、事業団をPRするとともに、各種がん検診、生活習慣病予防の正しい知識の普及啓発に努める。

2 受診率向上のための広報活動

特定健診70%、がん検診60%を目標に受診率の一層の向上を図るため、シンポジウム、講演会の開催や、ホームページ、テレビ、ラジオ、新聞等を利用した広報活動を行う。

3 がん征圧月間及び結核予防週間行事

9月の「がん征圧月間行事」並びに9月下旬の「結核予防週間行事」について、関係機関の協力を得る中で、がん予防、結核予防の普及啓発とがん征圧街頭キャンペーン、結核予防街頭キャンペーン等イベントの開催及び新聞、ラジオ広告を実施するとともに、ポスター、教育広報資料等を各市町村及び関係団体に配布するなどの啓発活動を行う。

04 リレー・フォー・ライフ2024の開催

9月に日本対がん協会本部と実行委員会が主体となり、がん患者やその家族を支援し、地域全体でがんと向き合い、がん征圧を目指す活動として、2日間夜通しリレーウォーク等を実施するチャリティーイベント「リレー・フォー・ライフ2024」を開催する。このことにより、がんに対する関心を高めるとともに、がん征圧活動、支援活動の活性化を図る。

5 各種イベントへの参加

県が主催する、「県民の日記念行事」、「いきいき山梨ねんりんピック」等の各種イベントに積極的に参加し、医師やがん経験者(ピア・サポーター)によるがん無料相談、簡易健康チェック(血圧、骨密度測定、健康相談等)を実施するとともに、生活習慣病、がん予防などに関するパネル展示、各種パンフレットの配布等を行い、受診率向上に向け普及啓発活動を推進していく。

6 健康教育の資料貸出

市町村等が行う健康教育の資料として、健康づくりに関するビデオ、パネル等を積極的に貸し出し、各種検診に対する地域住民への啓発に努める。

7 講演会の開催

県民の健康増進に関する知識の普及啓発を目的とした、生活習慣の改善やがん予防等、健康に関する講演会を開催する。

8 一次予防に関する取組

当事業団は、県の「健やか山梨21」計画が推進している健康づくりの「一団体一活動」事業の取組団体であるので、健康教育・健康づくり等、一次予防に関する実践的な事業を推進し、県民の健康の維持増進に努める。

IV 調査・研修事業

1 調査

県民の疾病の予防・健康の保持増進及び県内における検診技術や学術水準の向上を図るため、各種健診・検査事業を実施することにより、そこから得られる県民の健康状況に関する豊富なデータを活用し、集計や統計・解析やがん検診受診者の精密検査受診状況の追跡等の調査を行い、その結果や検診手法などに関して得られた成果を、市町村や事業所などの実施主体等に対して提供し、疾病の予防対策や県民の健康管理の基礎資料として活用を促進するほか、国をはじめとする行政、上部団体及び学会等に提供する。

2 研修

各種検診の多様化、高度化に対応するため、関係各機関等が実施する学会、研修会に職員を積極的に参加させるとともに、営業力強化を図るため接遇教育、研修会等を実施し、職員の資質の向上及び検診検査の精度向上に努める。

V 救急医療情報センターの運營業務

全県ネットワークの山梨県救急医療情報システムは、県から運營業務の委託を受け実施している。

本年度も医師会、歯科医師会、医療機関、市町村及び関係機関等の協力を得ながら円滑な運営に努める。

また、大規模災害時の対応について職員の訓練やシミュレーションの実施等を行い危機管理体制に対して強化を図る。

VI がん患者サポートセンターの運營業務

平成24年7月から山梨県より、日本対がん協会山梨県支部である事業団が運營業務の委託を受け実施している「山梨県がん患者サポートセンター」は、がん患者やその家族の悩みや不安の軽減に努めていくため、医師・保健師の医療面の相談に加え、がん経験者であるピア・サポーターによる心理面でのサポートや適切な情報提供を行い、がん患者の生活向上を目指して積極的な活動を行っていく。さらに、月に1回実施している社会保険労務士による「がん治療」と「仕事」を両立するための就労支援を推進していく。